

和
而
不
同

ガバナー月信

Vol.3

2002.9.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yono.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨



9月は新世代のための月間です

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
新世代のための月間によせて	7
ガバナー・ノミニー候補者選出について	8
青少年夏季交換報告	9
受け入れクラブより	10
委員会報告	14
訃報	18
新会員紹介	19
文庫通信	21
出席報告、9月の予定	22



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ 「会員増強と拡大月間によせて」

2840地区

ガバナー 矢野 亨

9月は、新世代のための月間です。

ロータリークラブのメンバーは、その平均年齢はかなり高いようです。それは一人一業種というロータリーの性格からも、またそれぞれの業種でも一応成功している人が選ばれているとなると、年齢は高くなるを得ません。しかし、最近是比较的若い方の入会がみられるようになりました。これはロータリーにとって甚だ好ましいことでもあります。

新世代委員会の対象は、14歳から30歳であったものが、0歳から30歳に拡大されました。我々ロータリーが、次代を担う新世代の人々に何を期待し、何を残さなければならないか、大きな課題であるといえましょう。

わが国の教育は今、**大きな転換期**にあると云えましょう。子どもたちの偏差値偏重の学校教育はこれでよいのか、それを支える家庭教育が弱体化してはいないか、さらに学校を取

り巻く地域社会との連携は十分であるのか、子ども達を取り巻く問題点を、ざっと取り上げても、先ず、子ども達に対する「こころ」のケアがあります。不登校、いじめ、自殺、17歳の殺人などの現象は、今までの教育の何たるかを我々大人に問い掛けています。また、新聞紙上をにぎわす、中、高校生の性の逸脱行為は目に余るものがありますが、最近の厚生労働省の発表では、女子中学生の人工妊娠中絶の驚くべき数字が示されました。それと同時に、水面下に広がる「エイズ」感染から子ども達を守らなければなりません。また、薬物乱用防止教育も、青少年に対する大きなテーマとなっております。シンナー、覚せい剤などに汚染された場合の恐ろしさを知識として十分教育する必要があります。

これらは、或る意味で「負」の面の一部ですが、これらも、我々大人に対する痛烈な問題提起といえましょう。

ロータリーには、インターアクト、ロータリーアクト、ライラ、があります。わが2840地区では、現在インターが15クラブ、ローターが12クラブです。残念ながら、なかなかこの数は増えません。ローターがクラブ減ですが、インターがクラブ新設の動きがあるようです。大変喜ばしいことで是非

題字に寄せて 矢野 亨

「和而不同」(論語、子路)わが病院従業員の結婚式の時、私のはなむけの言葉の定番である。彼女たちは結婚しても当分の間共稼ぎである。従ってこの意味する所は、夫婦相和してほしい、しかしお互いに附和雷同することの無いように。と言う願いである。ロータリーも同じであろうか。

実現されることを期待しております。しかしまだ、**第2840地区の46クラブのなかで、インター、も、ローターも持っていないクラブが24クラブ**あります。今年度からスタートする「こども奉仕委員会」に参加することによって、すべてのクラブが「新世代委員会」に関わりをもつようになれば、クラブとしての活性化に大いにつながるものと期待しております。

「こども奉仕委員会」について

本年4月から、**新学習指導要領**が実施され、それによって小、中学校は週休2日制が実施されるようになりました。その土曜日が**総合学習**の時間として、偏差値に捉われない、いわゆる「ゆとりの教育」の時間を目指して、新しく設置されることになったのです。この総合学習の時間は、如何様にも使える時間です。子ども達の限りない可能性を育む時間でもあります。

そのための教師は、地域の識者が参画しても良いのです。現在N.H.K.で、**"ようこそ先輩"**という時間帯があります。其の学校の先輩が招かれて、自らの体験に基づく生きた教育を行うと言う試みですが、これが大変視聴率が高く、教育番組として評判が良いのです。

これこそ「総合学習」なのです。かつての学校は、「教員免許を持たないものは教壇に上がってはいけない」という古臭い規則がありましたが、このような制度は改められて、「**開かれた学校**」へと、体質改善が行われているのです。

教育改革の大きな柱は、今や、教育は、**学校だけが行うのではなく、家庭と、地域の三者がスクラムを組むのでなければ、真の教育の成果は挙がらない。**と叫ばれてから久し

い。

この地域の人々の、学校教育への参加の、具体的事例が、総合学習への地域有志の参加、協力であります。

地域における、**専門的指導者集団あるロータリークラブの会員こそ、この総合学習の時間に参加できるのではないのでしょうか。**

小、中学校での「総合学習」に、先ず「奉仕活動」が大きく取り上げられております。従って、**学校との連携のための窓口として、「こども奉仕委員会」を作り、ロータリアンに、この「窓口」を利用して総合学習のお手伝いをしていただいたら、という私の願いがあるのです。**

10月の地区大会に向けて、子ども達の、奉仕の実践活動に対する**作文コンクール**を計画しております。これは県教育委員会との共催であります。とりあえず初年度でもありますので、十分に情報が行き渡り難いという憾みがありますが、まず、コンクールで表彰することによって、「ああ、こんな奉仕活動があったのだな」とか、「こんな奉仕活動なら私達にもできるよ」と言った風に、これからの**小、中学生が、総合学習を利用して活動する際の、モデル**を提示して差し上げたいという思いの他方で、ロータリアンが「こども奉仕委員会」活動に参加するインセンティブになる事を期待している訳です。

高等学校における「奉仕活動」

小、中学校における奉仕活動は本年度から始まりましたが、2年後には、高等学校で義務化され、大学入試の条件付け、となるようです。「奉仕活動」はこれからの青少年に対する教育の大きな領域となるでしょう。



ロータリーの対応について。

菅生 R . I . 理事はその就任挨拶の中で、「教育問題に力を注ぐ決意」をのべられ、7月に開催されたガバナー会では、前川正一議長から「青少年対策委員会」が上程され、決定されました。この「青少年委員会」は、我が、第2840地区では、従来からある社会奉仕委員会の中のインターアクト、ローターアクト、ライラ、などを含めた「教育問題検討委員会」を「**青少年教育問題検討委員会**」と名称を変更して、「子ども奉仕委員会」のみならず、総合的な立場から、教育問題に関わって貰う事にしました。

ロータリーの奉仕と地域福祉

(其の二) 9月号

前号『8月号』でポールハリスがノーベル平和賞を貰えなかった事を述べましたが、その経緯について、私なりの見解を述べてみたいと思います。

ポールハリスによって始められたロータリークラブは、現在163ヶ国、クラブ数30,149、世界のロータリアン、1,188,492人に及び、地球を蓋はんとする奉仕活動の成果については今更云うをまちません。

この事からも、私は当然のことながらポールハリスは、ノーベル平和賞くらいは貰っているのではないかと考えました。しかし私の調査では、貰っている様子はない。確認の意味で、R Iの日本事務局に調べて貰ったところ、やっぱり貰っていないそうです。

人間の評価は、ノーベル賞を貰っているか否かによって決められるものではない事は当

然であります。ポールと全く同時代に生き、同じシカゴに住んで奉仕活動を行った**ジェーン・アダムス**が「アメリカの良心」と讃えられ、**ノーベル平和賞**を頂いているのはなぜか。残念ながら、ポールが何故貰っていないのか、これは、ロータリアンとして当然の疑問ではないでしょうか、私は、ポールハリスに傾倒していますので、鼻眞の引き倒しにならないように注意しながら、当時に遡って二人に対する実績の差について、これから2号に亘って検証してみたいと思います。

ジェーン・アダムスは**1860年**生まれですから、ポールより8歳年長です。当時のアメリカでは19世紀末からヨーロッパからの移民が大挙してアメリカに上陸してきます。新天地に一獲千金の希望と、一方で生活の糧を求めてきたこの移民集団は、1880年代にはおよそ550万人に達したという。ある者は西部の金鉱や石油を求めて、西へ西へと移動する中継基地のシカゴは、その人口の三分の一は外国生まれであったそうです。

当時のシカゴの町は、汚物と悪臭の町、喧騒、無法、暴力の町でもありました。それに追い討ちをかけるように、1893年の大不況が町を襲い、工場や鉱山の多くが倒産し失業者が群れをなしたといわれています。

ジェーン・アダムスという女性は、イリノイ州にあるロックフォード女学院を首席で卒業し、ヨーロッパに旅をして、そこで都会の華やかな裏に隠れた貧困、腐敗の現状に心打たれたといわれます。男勝りの彼女の心に刻まれたものは、ハーバートスペンサーの唱える、いわゆる社会的適者生存の理論に真っ向から対立するものであったようです。彼女は

意を決して、**セツルメントの総本山とも言える、ロンドンのトインビーホール**へ行き、そこでセツルメント運動の実践を勉強します。わき道に逸れますが、このトインビーホールを創ったのは、歴史学者で有名な、アーノルド ジョセフ トインビー (Arnold Joseph Toynbee) の大伯父に当たるトインビー氏 (Arnold Toynbee 1852 - 1883) と記憶しています。この大伯父さんも大変な学者で、産業革命という言葉を作る一方で、産業革命によって生れた多くの貧困な都市労働者を救済すべくセツルメントを作ったのが、ロンドンにあるこのトインビーホールといわれています。このトインビーホールでセツルメント運動を学んだ彼女は、やがて、アメリカで最も貧民の多い町、不潔の町、シカゴに狙いを定めて**セツルメント「ハルハウス」**を設立します。1889年のことです。丁度ポールハリスがシカゴで、4人の有志とともにロータリークラブを発足させる6年前のことでありました。

ここで、セツルメント「ハルハウス」について、簡単に其の概略を述べてみます。「ハル」と言う名前は広大な建物の家主の名前で、この富裕な実業家はこの本宅の周辺がスラム街と化した為、ここを避けて郊外に移り住んでいました。空家となった大邸宅は、まさにセツルメント運動には恰好の建物であり、場所であった訳です。

ジェーン・アダムスとその友人達は、ハルハウスで、毎週2000人もの人々に暖かい昼食提供や、孤児同然の子どもたちのお世話や教育、さらには貧民の救済と自立を目指したさまざまな計画を実行に移しました。折りよく、1878年にロンドンで創設された救世軍の運動がアメリカに上陸し、シカゴの

ジェーン・アダムスの運動に合流したようです。

ハルハウスにおけるジェーン・アダムスの慈善運動、社会奉仕活動の成功は、シカゴ市民に明日への活力と、大きな明るい希望を与えたといわれています。彼女の社会改革の情熱は、やがて女性参政権運動に発展しますが、ここで、ジェーン・アダムスのすべての業績を披露するのは本意ではありません。かくて、彼女は「アメリカの良心」として、ノーベル平和賞を受賞します。

一方、ロータリーに目を転じると、これは決して華やかではありません。ジェーン・アダムスが、シカゴのハルハウスで活躍始めた頃、ロータリーの当初の会員は、経営者とはいうものの、たかだか中小企業でしかなく、大多数の会員は大学卒業の履歴も無く、ロータリーに参加したのは、例会という親睦の場に、経営上の相談を持ち上げて、会員の協力を得ながら、シカゴにはびこる俗悪な他企業との競争に勝ちたいという願いがあったようです。このことは、前号に記載したように、ロータリーの最初の綱領の第一条が、会員の業務の利益を振興すること、とあるのを見ればあきらかです。しかし、ロータリーは顧客を含めて正直に誠意を持って当たり、商業道德水準の向上を目指そうとした所が、ロータリーの哲学と言われ、**職業奉仕の原点**となります。その後のロータリーには、社会奉仕、国際奉仕等が出来ますが、ロータリーの本質は、あくまで職業奉仕にあるといわれています。

この事を考えますと、ロータリーはまず、「自分の仕事、職業を大切に下さい。そして、余裕があるならば、という表現は拙いのですが、職業を通して奉仕をしましょう。」と



いう事に尽きるようです。

「奉仕」という言葉の意味ですが、私は「**困っている人に手を差し伸べてあげること**」と理解しておりますので、この「奉仕」の意味をロータリーでいう「職業奉仕」にダイレクトに結びつけた場合、些か無理なものがあります。従って、この「奉仕」の意義を拡大解釈しますと、「**その行為によって、人の為になり世の中が明るくなること**」であろうと考えております。

ここまで広げるならばロータリーの「職業奉仕」も意味を持つようです。しかし、これは、或る意味で、ロータリーの「**職業奉仕**」の**限界**でもあったようです。

(長くなりますので、以下は、次号10月に譲ります。)

強調月間に因んで



新世代のための月間によせて

RI第2840地区新世代奉仕委員会
委員長 川生 宏（館林ミレニアムRC）

9月は新世代のための月間と定められています。この機会に私達ローラーがこの事にどのように取り組んできたかを少し考えてみたいと思います。1961 - 62年度の地区組織図を見ると地区諮問委員会の下に地区拡大委員会とローラー財団委員会その下に後にの米山奨学委員会と財団奨学委員会の前身と思われる奨学金委員会があるだけです。翌年の62 - 63年度に国際奉仕・青少年交換委員会が設置されました。そして65-66年度に社会奉仕・インターアクト委員会が新設されました。当時の地区組織図を見ていると青少年への支援がローラーのおおきな目標であったことがよくわかります。まだ茨城・新潟・栃木・群馬の355地区の時代であります。私はいま「地区年間・第3集」を参考にしておりますが、更にページを進めると68-69年度にいよいよ前原勝樹（桐生）がローラーの登場であります。翌年は直前ローラーでありクラブ会員拡大委員長とインターアクト委員長を兼務され70-71から3年間社会奉仕委員長・インターアクト委員長・ローラーアクト委員長をすべて兼務されました。さらに2年間74-75年度まで社会奉仕委員長をされたのです。当時私も記憶にありますがその間「1クラブ1アクト」を目標にインターアクト・ローラーアクトの設立を各クラブに呼びかけ続けられたのです。その71-72年度に356地区として群馬・新潟は分割しました。現在2840地区にインターアクトクラブは15クラブでその7クラブが1965 - 75年に設立されました。ローラーアクトクラブにいたっては14クラブのうち12クラブが当時に設立されたのです。それ以降は1990年に桐生西クラブ、1995

年に前橋南クラブが新設しただけなのです。当時はパストがローラーが夫々の大委員長をされるという制度あったからこそこのようなことが出来たのだとおもいます。このような大物PGが何年も大委員長としておられたのではローラーはやりにくいこともあったかもしれませんが一つの活動が地区事業として定着し継続されるには大変な情熱が必要なのだと言う事かもしれません。しかし何としても一つのアクトの設立が私達の数年来の悲願であります。そして今年、特にインター・ローラークラブを提唱しない多数のクラブからすれば「こども奉仕委員会」の新設は地区の新世代奉仕委員会と各クラブの青少年に対する奉仕活動の目標を共有できることになり大変意義深いこととなりました。インターアクトクラブは1962年にフロリダ州マイアミで始まりローラーアクトクラブは1968年にノースカロライナ州で始まりそれぞれの地域の要請、世界のニーズによって今日に至っています。しかし日本では週休二日制の実施とボランティア活動の義務化、学校教育の中での奉仕活動のあり方が大きく問われています。まさに時宜を得た、時代の要請に応えるべく否むしろ先取りして新設されたこの「こども奉仕委員会」はそれらに決して劣らない大きな意味があるのだと私達は考えております。

今後インターアクト委員会、ローラーアクト委員会そして力行委員会と同じく地区事業として定着し継続されるように新設元年の今年誠実に努力したいと考えております。



2002～2003年度

ガバナー・ノミネー候補者選出について

2002～03年度 RID2840 ガバナー 矢野 亨

去る8月18日(日)桐生市、ガバナー事務所会議室において、国際ロータリー第2840地区ガバナー指名委員会が開催され、2002～03年度のガバナー・ノミネー候補者として、山崎學君(高崎南RC)を指名・推薦しました。山崎學君は、高崎南RCの会長・幹事、連名による7月10日付、ガバナー指名委員会宛書簡をもって、表記候補者として高崎南RCから全員一致で推薦されたものであります。

当地区はガバナー・ノミネー選出については、RI細則13.020.3により指名・推薦いたします。当地区内の各クラブで、他の候補者を指名するクラブ決議のある場合には、9月6日(金曜日)までに矢野ガバナー宛書面提出されるよう告示いたします。

なお、ガバナー指名委員会で指名した候補者に対抗して立候補するロータリアンは、立候補に際して地区内の少なくとも他の5つ、(または年度始めにおけるク

ラブ総数の10パーセントのいずれか多い方)のクラブの同意が必要であります。(RI細則13.020.8)



山崎 學

昭和15年(1940)

11月7日生

高崎南ロータリークラブ

職 業

医療法人慈光会 慈光会病院 理事長、院長
社会福祉法人宏志会 天界園 理事長

学 歴

日本大学大学院 昭和47年(1972)卒

ロータリー歴

1976年7月 高崎南ロータリークラブ入会
1999-2000年度

高崎南ロータリークラブ 会長

財団マルチプルフェロー(5回)

1985.11 1996.7 1999.9(2回) 2000.8

米山功労者(2回) 1989.10 1999.9

R I 指名委員候補のおしらせ

RIは理事会の規定により2004年(大阪)国際大会に於いて選挙されるRI理事を指名するためにゾーン1・6・9・14・19・23・27・および29が理事指名委員会の委員を選出することになりました。

従って第2840地区は去る8月18日の第2840地区 指名委員会において指名委員候補にパストガバナー吉野 一郎君(桐生RC)補欠委員候補としてパストガバナー高木 貞一郎君(館林RC)を推薦することになりましたのでご連絡申し上げます。

尚、この指名の承認は10月20日の地区大会において行われることとなります。

青少年夏季交換プログラム

ドイツ1810地区との青少年夏季交換報告

青少年交換委員長 天笠 博（館林ミレニアムRC）

7月8日(月)早朝、成田国際空港第2ターミナルにて、8名のドイツ学生を出迎えました。今回の来日学生は、16～19歳の男子4名・女子4名で、ドイツの北西部に位置する1810地区 Neandertal RC, Cochem-Zell RC, Remscheid RC, Bonn-Rheinbach RCの4クラブが推薦ロータリークラブとなっております。飛行機が約1時間早く到着してしまい、私達の出迎えが10分程遅れましたが、8人の学生達は行儀良くひとかたまりになって待っていてくれました。前橋に向かう車中では、長旅の疲れからか、とてもおとなしく過ごしていましたが、つい先日のワールドカップサッカーの話題になると、目を輝かしてあの偉大なゴールキーパー・カーンの事を誇らしげに話していたのが、とても印象的でした。

同日、前橋東急インにてそれぞれのホストファミリーと対面し、多くの期待と多少の不安の入り交じった面もちで彼らの初めての日本での生活がスタートしました。2840群馬では、群馬境、桐生西、沼田中央、伊勢崎、安中、前橋南、桐生赤城、館林の8クラブがホストクラブであります。12日間の短期間ではありますが、各クラブ関係者そしてなに

よりホストファミリーとの触れ合いは、彼等にとってかけがえのないものとなったことでしょう。19日から30日の間は、2560新潟の柏崎中央、妙高高原、小千谷、新潟万代の4クラブ・5ホストファミリーにお世話になり、彼らは初々しい親善大使としての役割を立派に果たして、各ホストファミリーと涙ながらに別れを惜しみながら31日朝の飛行機で、新潟・群馬の13名の学生達とともに、ドイツの親元へと旅だって行きました。

日本の学生達も彼等同様に素晴らしい体験をお土産に、元気に帰国してくることを心より念じ、報告と致します。

最後に、今年度受入8名、派遣13名というアンバランスのなか、親身になってお世話いただいたホストファミリーの皆様と各クラブご関係者に、最大の敬意と感謝を表したいと思います。更に今回、ロータリーの友情で、急遽ドイツ語通訳を買ってでてくれた渋川クラブの福田朋英君にも、ドイツの子達とともに御礼申し上げます。(流暢な母国語が聞けたこと、とても心強く感じたことでしょう) 有り難うございました。





青少年夏季交換プログラム

受け入れクラブより

館林ロータリークラブ

国際奉仕委員会委員長 田部井孝一



7月8日受け入れ学生のベネジエクト君が来館致しました。早速10日にはベネジエクト君はじめ、堀口会長、

田部井会員、大澤会員、派遣学生の両親石田さんご夫妻、そして天笠地区青少年交換委員長で中島館林市長を表敬訪問致しました。館林市長は環境問題について関心をもっておられまして、世界でもっとも先進国のドイツから学生が来てくれたので、その件について少し話をしておりました。

また、ベネジエクト君は日本で開催されたサッカーワールドカップに出場したドイツのゴールキーパーで人気のあるカンさんと知り合いであると言う事で、話も盛り上がりました。

7月12日には館林ロータリークラブの例会に派遣学生ファミリーと出席してバナ-の交換、そしてスピーチをしていただきました。派遣学生の石田宗一郎君にはご挨拶をしていただき、会長からは当クラブのバナ-とお饞別を渡し、折角の機会ですので貴重な経験を積んで来て欲しいと言葉を送りました。その後、ホストファミリーと日光見学に出発しました。

7月15日はベネジエクト君はじめ他クラブにステイしている4名の学生、桐生西クラブの前原さん、大江さん並びに通訳の2人、当クラブから堀口会長、田部井会員、大澤会員、通訳のトレイシ-さん総勢13名でディズニ-ランドへ行ってきました。学生達も久しぶりにみんなと合流出来て楽しそうでした。我々も童心にかえりいろんな乗り物にチャレンジし、実に楽しい

一日でありました。そして館林に帰ってからはベネジエクト君と参加したクラブのメンバーで食事しましたが、日本食も上手に箸を使いみんなと楽しそうに食べている格好をみると、ふとわが子と一緒にいるように思ってしまった。彼らも最初は異文化の国に来て戸惑いを感じていた様ですが日を追うごとに日本の生活に慣れてきて、やはり若い人は順応性が早いようです。この様に互いの青少年が少しでも文化を理解し、交流できればこれからの国際社会が楽しみです。つまりこのプログラムがロータリーの目的であると思います。



群馬境ロータリークラブ

国際奉仕委員長 斉藤 博

7月8日(月)

前橋東急インにて受け入れ。



受け入れ学生
マニユエラ
16才、女学生

推薦RC D1810 RC Neandertal

7月9日(火)旅で疲れているので予定を入れず家でくつろぎ、家族との会話や家庭料理を楽しむ。

7月10日(水)伊勢崎RCの伊能さんの

青少年夏季交換プログラム

案内にて共愛学園を訪問、伊勢崎RC例会参加、伊勢崎市内観光、夜は家で家族と夕食を楽しむ。

7月11日(木)桐生赤城RC案内にて日光観光、夕食をすませ、PM8:40分ごろ帰宅。

7月12日(金)境RC例会出席、境町役場訪問(町長と会談)、境警察署訪問(署長と会談)。



7月13日(土)私の家族と東京都内観光、東武口マンスカーにて、浅草寺、上野公園、皇居、東京タワーなど観光、帰宅PM10:00。

7月14日(日)家族と一緒に境町、伊勢崎市など観光し、ショッピング、マニユエラにお土産として、ゆかたセットをプレゼント。

夕方、私の友人である高柳宅へ行き長男のアニメ作家を紹介し、マンガ本やアニメグッズなどをプレゼントして頂き色紙にサインをもらい、大喜びでした。

7月15日(月)桐生西RC案内にてディズニールンド観光、夕食をすませPM7:00すぎ帰宅。

7月16日(火)川越先生の友人である坂本さん宅にて華道体験。

7月17日(水)境RC案内にて群馬サファリパーク、群馬県立自然史博物館見学、夕食をすませ、PM6:30分頃帰宅。

7月18日(木)伊勢崎RC案内にて水上、谷川岳方面観光、PM6:00より5クラブ

合同でクレインパークホテル山楽荘にてさよならパーティーを行う。PM8:30分頃帰宅。

7月19日(金)ドイツ学生新潟県へ移動。以上でドイツ青少年夏季交換プログラム報告とさせていただきます。

安中ロータリークラブ

ホストファミリー 矢野 薫

七月八日ドイツより交換学生、ティモ(写真、背の高い学生)とクリスチャンが我が家に来た。二人共、日



本の歴史、文化、日本車等に興味があり、鎌倉、お台場につれていった。鎌倉でのお寺、大仏では二人共、かなり感動している様子だった。特に白いハトが手にとまるのには、子供の様に喜んでいて。その後、ゆりかもめでお台場へ向かった。無人のゆりかもめには大変喜んでいて。特にクリスチャンが興味を示したのは、トヨタの展示場だった。今、ドイツでも日本車はかなりの人気があるらしく、熱心に見入っていた。お台場の夜景を見ながら夕食をとり、家に帰ったのは十一時頃だった。学生達は若いし、元気だが、私は少し疲れた。

翌日は私の長男が高崎のデパート、並びにカラオケにつれて行った。二人の学生はカラオケ好きで、五時間も歌っていた様だった。

夕食をとりながら、サファリにも興味を示したので翌日富岡にある群馬サファリにつれていった。私は今度で四度目のホストファミリーをする訳ですが、前回の学生もこのサファリのエサやりバスが大変うけたので、つ



慈愛の種を播きましょう

Sow the Seeds of Love

青少年夏季交換プログラム

れていった。特別のバスでライオンゾーンに入り、バスの小さな窓より肉をやるわけですが、大変二人共、感動していた。昼食の「クココマイル」入りのチャーハンをおいしそうに食べていた。今回の学生は前もって日本の事、日本語等学習してきており、礼儀正しく、又よくジョークを言ったり、大変フレンドリーで、部屋に戻れば報告書を書いている様だった。過日、お世話になって今、ドイツにステイしている娘より、毎日、日本では経験できない素晴らしいステイをさせていただいているという電話が入った。この事業を通して、真の意味での日独の国際交流の橋渡しになればと念願する次第です。

最後にこのプログラムを運営していただいた委員長さんを始め、スタッフの方々に、心より感謝致します。本当にありがとうございました。



桐生西ロータリークラブ

国際奉仕委員長 堀口信行

今年度は偶然にも第2分区の伊勢崎、群馬境、桐生西、桐生赤城4 R C がホストクラブで各1名の受入。

新年度早々の7月8日来日とのことで受入体制準備について6月下旬に桐生プリオパレスにて4 R C の国際奉仕委員長及びホストファミリー会員が集まり協議を行う。



各 R C ホストファミリーの負担を軽減するための共同で出来る行事を計画。

各 R C 共同行事の一つを計画、担

当クラブの責任において実施。

日光見物 (7/11 桐生赤城 R C)

ディズニーランド (7/15 桐生西 R C)

群馬サファリパーク 県立自然史博物館

(群馬境 R C)

谷川岳方面ロープウェイ 露天風呂

(7/18 伊勢崎 R C)

サヨナラパーティー 23名参加

費用各クラブ参加人数により等分の負担

各クラブ指定の場所への送迎

館林 R C のベネジャクト君

7/15 ディズニーランド

7/18 サヨナラパーティーに参加。

以上のように物心両面での負担軽減に役立ち又学生達は4人~5人で行動を共にし楽しさも増加したことと思う。

桐生赤城 R C、桐生西 R C は合同でクラブ例会出席、桐生市長表敬訪問、クラブ会員事業所見学及び市内散策と文化にふれ桐生を記憶してくれたでしょう。

何はともあれ12日間各ロータリークラブとホストファミリーのお世話のお陰で無事7月19日に新潟県側ホストクラブならびにホストファミリーに引渡し終了。責任を果たせたことに感謝いたします。

今後このプログラムがより良い成果を上げながら継続できることを念じます。



伊勢崎ロータリークラブ

国際奉仕委員長 藤丸兼一

7月8日前橋東急インにて当クラブ受入のクリスティーナ、ユングさんにホストファミリーであります伊能御夫妻と共にお会いしました。当日は長時間のフライトで少々お疲れ気味の様子でしたが大好きなお寿司を食べすぐに元気になりました。今回ドイツより8名の皆さんが来られましたが第2分区では桐生西RC羽鳥地区副幹事の御提案により4日間担当日をそれぞれ決め案内させていただきました。桐生西/ディズニーランド、群馬境/サファリパーク、桐生赤城/日光、伊勢崎/水上谷川で行ないました。また館林RC受入のベネディクト君も参加され、それぞれ大変楽しく過ごされました。クリスティーナさんは日本にとっても興味をもっておられ日本語も自身で勉強をし、平仮名はマスターしていました。また日本のアニメに関しては相当詳しくて私などはとても及びませんでした。そんな人柄でしたのでパートナーの伊能真美さんともすぐに仲良くなりまたホストファミリーの皆さんともうちとけあえたようです。7月10日には真美さんが通う共愛学園に群馬境受入のマニューエラさんと朝のミサにも参加、当クラブではスピーチをお願い致しました。当日は伊勢崎市役所も訪問し田村教育長様とも歓談致しました。また伊能ファミリーでは華道、茶道の体験そして歌舞伎鑑賞もされ日

本古来の文化を充分楽しまれた様です。7月18日は群馬最後の夜ということで伊勢崎に於いて前出の4クラブの皆様と共にサヨナラパーティーを開催。大変盛り上がりました。翌7月19日には新潟へ移動されましたが高崎駅ではクリスティーナさんと伊能さんの奥様が本当に涙の別れとなり『心が通じあえたんだな』と私も感激した次第です。最後になりましたが伊能国際奉仕地区委員長はじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。



その他の受け入れクラブ

前橋南ロータリークラブ

桐生赤城ロータリークラブ

沼田中央ロータリークラブ



委員会報告

IA 合同会議会議報告

インターアクト委員会

委員長 加藤悦朗 (沼田 RC)

開催日・時間：2002/7/7 11:30 ~ 16:00

会場：高崎ビューホテル

出席者：72名



7月7日(日)インターアクト顧問教師とロータリアンの合同会議が、高崎ビューホテルで開催されました。

インターアクト顧問教師13名、生徒24名、ロータリアン21名、来賓2名、地区役員10名、事務局2名の総勢72名での会議となりました。

毎年開催されるこの会議は、インターアクトクラブ顧問教師と生徒、ロータリアンが集まり、意見交換をするという意味で、大切な会議であります。今年は、インターアクトクラブを持たないクラブからも、6名の参加をいただき、感謝いたしております。

会議は、活発な意見が交わされ、時間が足りなくなるほどでした。なかでも、来賓でおこしいただいた、山形電波高校の顧問教師、今野敏昭先生からは、山形県のインターアクトクラブの状況を発表していただき、大変参考になりました。また、太田東高校の校長、根岸弘先生からも、自らインターアクトクラブにかかわった

経験と意思をお話いただき、我々も勉強させていただきました。

顧問教師の



方々と、密接な連絡をとることがいかに重要かを再認識させていただき、当日ご参加の皆様に感謝申し上げます。

プログラム

(新世代奉仕担当副幹事 鳥嶋隆一 記)

第1部 13:10 ~ 13:30

司会進行 地区担当副幹事 鳥嶋隆一

・開会挨拶・ガバナー・ガバナー事務所紹介

新世代奉仕委員長 川生 宏

・ガバナー挨拶 ガバナー 矢野 亨

・委員長挨拶及び地区役員紹介

インターアクト委員長 加藤悦朗

・IA年次大会開催主旨提唱

ロータリークラブ代表挨拶

沼田RC大会実行委員長 天野鐵心



矢野 G



川生氏



加藤氏



天野氏

休憩 13:30 ~ 13:40

第2部 13:40 ~ 14:30

司会進行 インターアクト委員 近野雅博

・地区インターアクト委員会運営方針

インターアクト委員長 加藤悦朗

・講話 ガバナー 矢野 亨

矢野ガバナーは講話の中でロータリークラブの歴史・インターアクトクラブの歴史についてお話しをされ、そしてそれぞれの立場で奉仕活動を体験して頂きたいというお話しもされました。

休憩 14:30 ~ 14:40

第3部 14:40 ~ 15:30

司会進行 インターアクト委員 清水正己

合同検討会議 ~ 主旨説明

インターアクト委員長 加藤悦朗

(質疑応答並びに意見交換)

委員会報告

R I D 2 8 0 0 地区（山形）の現状
山形電波高校教諭 今野敏昭
インターアクトクラブ新設について
太田東高等学校校長 根岸 弘



今野氏



根岸氏

講評並びに閉会の挨拶

新世代奉仕委員長 川生 宏
つづいて、インターアクトクラブの活動状況
について2・3の生徒から発表していただき、
その後、顧問の先生より質問と要望が有りそ
れに対して矢野ガバナーと根本幹事が答弁を
されました。

第3回国際奉仕委員会会議報告

開催日・時間：2002/7/13 13:00 ~ 15:20
会場：ガバナー事務所 会議室

出席者：

矢野亨ガバナー、根本正則地区幹事、
伊能大委員長、小暮委員長、天笠委員長、
黒川、大越、中村、難波、蛭田、豊泉、各
委員 下井田副幹事 事務局 織田

報告事項

1. 開会
2. 委員長挨拶 国際奉仕委員長 伊能富雄
3. ガバナー挨拶 ガバナー 矢野 亨
4. 協議事項
 - 1) 8 / 2 5 (日) 国際奉仕・世界社会奉仕・
青少年交換セミナーについて
 - 2) 報告事項
青少年交換委員会
世界社会奉仕・友情交換委員会
5. 幹事挨拶
6. 閉会

(担当副幹事 下井田秀一 記)

ゾーン1 会員増強セミナー報告

会員増強・退会防止委員会
委員長 新井良雄 (太田南 RC)



開催日・時間：2002/7/14 13:00 ~ 16:00

会場：東京プリンスホテル

出席者：

R I 理事、板橋敏雄 (足利東)
R I ゾーン R I M Z C 高橋文夫 (山形北)
R I ゾーン R I M C 黒田正宏 (八戸南)
R I ゾーン R I M Z C 渡邊隆 (習志野)
矢沢武彦 (釧路) 新城義雄 (郡山) 殿塚
周作 (小山) 小野信次 (君津) 岩城秀晴
(札幌南) 西成忍 (横手南) 西川敏郎
(小千谷) 金子昌弘 (山形中央) 大川明
雄 (仙台南) 和田積 (鹿島中央) 杉山茂
夫 (百石・下田) 新井良雄 (太田南)

報告事項

第1回目 R I 理事の板橋敏雄氏 (足利東) を
迎え基調講演「会員増強における私の体験か
ら」とのお話があり私としても2840地区
としても参考になるお話でした。

1. 世界的に会員は増えている特にインド、
フィリピン、韓国
2. R I 会長でも R I 理事でもなく地域社会
に根をはるロータリアンが肝心である
3. 一人一人のロータリアンが誇りを持ちそ
のためには職業奉仕を見直し新しい職業
人を入会させることが大切である。
4. 世の中不景気といっても莫大な費用が
かかるわけでないのだから皆様のご理解



委員会報告

- をいただき会員の増加を計って欲しい
- 自分のクラブ入会者の若い人に役職をあたえると80%以上の出席率になり楽しんで行っている。
 - 入会者の家に出向き奥様にも話をして奥様も色々な方に出会える楽しみを話して了解していただき入会してもらうため退会者がでなくなっている。
- 渡邊隆氏 R I ゾーン R I M Z C から
出席報告は提出日をお願いします。
- 高橋文夫氏 R I M Z C から
役割分担をより明確なものをつくるのが良いと考えます。

第1回職業奉仕委員会会議報告

- 開催日・時間：2002/7/25 18:30～21:00
会場：矢野ガバナー事務所
出席者：矢野ガバナー、根本地区幹事、藤掛地区副幹事、八木橋大委員長、荻原委員長、竹内委員
- 報告事項
- 挨拶 (1) 矢野ガバナー
(2) 根本地区幹事
 - 議事
 - 職業奉仕委員会年間活動計画
 - 各クラブにおける職業奉仕委員会での本年度活動計画、要望等のアンケートをとる
8月上旬に各クラブに発送, 8月末に回収、本年度の活動に参考とする
 - 職業奉仕セミナー開催
 - 日時 平成14年11月2日(土) 16時～19時30分
 - 場所 高崎サンパレス
 - 講師 地区研修リーダー 重田政信パストガバナー
 - 会費 5000円(クラブ負担)

- 内容 今後検討
(職業奉仕担当副幹事 藤掛幸四郎 記)

R I D 2840 2002～2003年度 ローターアクト委員会、 ローターアクトクラブ 合同会議

- 日時 2002年7月28日(日)
場所 桐生倶楽部(桐生)
桐生市仲町2-9-36
参加人数 RA 21名 RC 18名
司会 村田 茂行
- 開会挨拶 地区副幹事 鳥嶋 隆一
 - 役員紹介 ローターアクト委員 松本 博
 - ガバナー挨拶、講話 ガバナー 矢野 亨
 - 地区ローターアクト委員長挨拶
ローターアクト委員長 宮澤 孝幸
 - ローターアクト地区代表挨拶 北爪 崇裕
 - 海外研修報告会(ベトナム)
ローターアクト直前代表 大津 実
- 全体会議
総評 新世代奉仕大委員長 川生 宏
閉会 17:00



矢野ガバナーより全体会議の議事討議に先立ちご挨拶として新世代奉仕委員

会としては、特に思い入れのある大きな委員会ですので、RACに於かれましても社会人としての奉仕活動に積極的な取り組みで望んで頂きたいとのご挨拶を賜りました。

全体会議では、年間活動計画、運営方針についての承認決議を採決し、承認を受けられました。ロータリーの皆様には、ご多忙の中御出席頂き厚く感謝を申し上げます。今後と

委員会報告

も私たちローターアクトに対しての、御理解、御協力並びに御指導、御鞭撻を頂ければ幸いです。



会員増強・退会防止と 地区拡大セミナー会議報告

日時 2002年8月4日(日) 13:30 ~ 17:10

場所 高崎ビューホテル

参加人数

RIMZC 渡邊隆 様
クラブ奉仕大委員長 曾我隆一
他 関係委員会 11名
46 RC 会長、増強委員長 84名
地区幹事・副幹事 3名
合計 100名

報告事項

渡邊隆 R I メンバーシップゾーンコーディネーター、曾我隆一クラブ奉仕大委員長、関係委員会、各クラブ会長及び会員増強委員長の 100名の出席。

矢野ガバナーは財団セミナー参加のため不在、曾我隆一大委員長の挨拶に始まり渡邊隆 R I M Z C の講話、ロータリー 100 周年に当たる 2005 年迄に会員数 150 万人の目標達成に向けて会員ひとりひとりがラタクル R I 会長のボトムアップの意を汲んで頑張りたいと、又厳しい状況下での会員増強も退会防止も先ず自分はやめない自分の友達にもやめさせないの信念をもつべき、その上増強を考える、菊地雅子女性会員特別増強委員長の ”

女性を蔑視せず 1 企業人又は人間として増強の対象に ” の発言に渡邊隆様は大変な評価をください、又佐藤弘地区拡大委員長の新クラブ設立の経過報告にも耳を傾けておられた。

ロータリーの永遠のテーマの一つ会員増強・退会防止について出席者全員が真剣に討議に参加し新井良雄委員長の軽妙な進行で意義あるセミナーを終了した。

(クラブ奉仕担当副幹事 堀口信行 記)

社会福祉法人 群馬県共同募金会 第 180 回評議員会出席報告

国際ロータリー第 2840 地区

社会奉仕委員長 塚越裕子

去る、2002年7月30日 13:30 ~ 14:00、県社会福祉総合センターに於いて、(社)群馬県共同募金会の第 261 回理事会及び第 180 回評議員会の合同会議が開催され、国際ロータリー第 2840 地区を代表して評議員に委嘱されたので出席致しました。
< 議事及び報告 >

1. 会長、副会長の選任について報告がありました。

会長 金子才十郎

(群馬県商工会議所連合会会長)

副会長 松浦 幸雄 (群馬県市長会会長)

副会長 針ヶ谷照夫 (群馬県町村会会長)

副会長 永井 良 (学識経験者)

2. 役職異動による顧問、理事、監事、評議員、配分委員の補欠選任について
会長より新任者に補欠委嘱したことが報告されました。その中で、国際ロータリー第 2840 地区として塚越裕子に評議員を委嘱したことが報告されました。

3. 平成 14 年度共同募金配分計画と目標額の案が上程され、満場一致で可決されました。
(内容詳細については掲載略)



謹んでご冥福をお祈りいたします



上野 英夫殿

大正8年6月10日生・享年83歳
 85 - 86 RI2560地区 ガバナー
 前橋ロータリークラブ
 勤務先 上野会計事務所 所長
 逝去日 平成14年8月16日
 入会日 昭和30年4月5日
 PHF 4回 ベネファクター 米山功労者

地区ロータリー歴

- | | |
|------------------|----------------------|
| 84 - 84 RI2560地区 | ・世界社会奉仕委員会 |
| 85 - 86 RI2560地区 | ・地区ガバナー・意義ある業績選考委員会 |
| 86 - 87 RI2560地区 | ・地区諮問委員 ガバナー指名委員 |
| | ・地区拡大カウンセラー |
| | ・意義ある業績選考委員・クラブ奉仕委員長 |
| 87 - 88 RI2560地区 | ・地区諮問委員 ガバナー指名委員 |
| | ・地区拡大カウンセラー |
| | ・意義ある業績選考委員・職業奉仕委員長 |
| 88 - 89 RI2560地区 | ・地区諮問委員 ガバナー指名委員 |
| | ・地区拡大カウンセラー |
| | ・意義ある業績選考委員・社会奉仕委員長 |
| 89 - 90 RI2560地区 | ・地区諮問委員会 |
| | ・地区ガバナー指名委員 |
| | ・青少年奉仕委員長 |
| 90 - 91 RI2560地区 | ・地区諮問委員会 地区ガバナー指名委員 |
| | ・国際奉仕委員長 |
| 91 - 92 RI2560地区 | ・地区諮問委員会 地区ガバナー指名委員 |
| | ・ロータリー財団委員長 |
| 92 - 93 RI2560地区 | ・地区諮問委員会 地区ガバナー指名委員 |
| 93 - 94 RI2560地区 | ・地区諮問委員会 地区ガバナー指名委員 |
| 94 - 99 RI2560地区 | ・地区顧問 |
| 99 - 03 RI2840地区 | ・地区諮問委員 |

新 会 員 紹 介



石原 保幸

前橋東ロータリークラブ
 入会日 平成14年6月28日
 職業分類 広告
 勤務先 (有)ピーイング
 役職 代表取締役
 推薦者 伊藤英明



石井 明

前橋東ロータリークラブ
 入会日 平成14年6月28日
 職業分類 電気工事
 勤務先 (有)イシイ電気
 役職 代表取締役
 推薦者 井野元吉



池ノ谷正寛

富岡ロータリークラブ
 入会日 平成14年7月10日
 職業分類 宗教法人 天台宗
 勤務先 天台宗安養山清泉寺
 役職 副住職
 推薦者 宮前有光



中村 英夫

沼田ロータリークラブ
 入会日 平成14年7月2日
 職業分類 商業銀行
 勤務先 東和銀行
 役職 沼田支店長
 推薦者 高山常二



田代 経量

沼田ロータリークラブ
 入会日 平成14年7月2日
 職業分類 僧侶
 勤務先 妙光寺
 役職 住職 代表役員
 推薦者 金子吉志



永井 彰一

沼田ロータリークラブ
 入会日 平成14年7月2日
 職業分類 酒類製造
 勤務先 永井酒造(株)
 役職 代表取締役
 推薦者 山田龍之介



菊池 章治

沼田ロータリークラブ
 入会日 平成14年7月2日
 職業分類 遊技場経営
 勤務先 (有)有楽商事
 役職 専務取締役
 推薦者 北野卓朗



西田 洽司

沼田ロータリークラブ
 入会日
 再入会 平成14年7月8日
 (昭和55.1.4)
 職業分類 建材業
 勤務先 (株)西田
 役職 取締役会長
 推薦者 高橋嘉一郎 星野恵一



吉田 正夫

桐生中央ロータリークラブ
 入会日 平成14年7月18日
 職業分類 事務機販売
 勤務先 (株)アサヒ堂
 役職 代表取締役社長
 推薦者 須藤広志



蜂須賀 芳勝

伊勢崎ロータリークラブ
 入会日 平成14年7月3日
 職業分類 プラスチック製品製造
 勤務先 (株)ハチスカ
 役職 代表取締役社長
 推薦者 板垣時央 古賀友二



伊勢崎ロータリークラブ
入会日 平成14年7月3日
職業分類 アルミ箔製造
勤務先 住軽アルミ箔(株)
役職 取締役業務部長
推薦者 杉原俊夫 渋澤一良

伊藤 康之



伊勢崎ロータリークラブ
入会日 平成14年7月3日
職業分類 ホテル
勤務先 (株)若松
役職 支配人
推薦者 板垣時央 古賀友二

神崎 大輔



伊勢崎ロータリークラブ
入会日 平成14年7月17日
職業分類 生花店
勤務先 (有)花車
役職 店長
推薦者 板垣時央 古賀友二

細井 瑞貴



館林ロータリークラブ
入会日 平成14年7月5日
職業分類 電気事業
勤務先 東京電力(株)
館林営業所
役職 所長
推薦者 新井保 岡田仁志

高山 幸則



館林ロータリークラブ
入会日 平成14年7月5日
職業分類 アパート賃貸
推薦者 飯村喜良 堀口一宇

瀬山 欣春

地区大会のお知らせ
日時 10月19日(土)・20日(日)
場所 桐生市市民文化会館



RIニュースから

ロータリークラブ会員 2001-02年度に4.6%増加

2001-02年度に5万4,939人の新会員を加え、世界で会員総数が前年度の4.6%増の124万3,431人となり、今までにない最大の増加でした。

同期間中に1,100を超すロータリークラブが創立され、6月末日の総クラブ数は3万1,256で、163か国にあります。

会員の最大増加はアジア地域内で、バングラデシュ、インド、韓国、マレーシア、フィリピン、タイではいずれも二桁のパーセンテージ増でした。インド内の会員数は約18%増で、1万4,209人の増加、新会員数では世界第1位となりました。

地域内の活力を示し、2001年7月12日に25人の会員で発足した韓国、大邱・イーグル(Daegu-Eagle)ロータリークラブは1年足らずで会員173人となり、2002年5月には新クラブ大邱・般若(Daegu-Banya)ロータリークラブ創立のスポンサーをしました。

増加は世界各地で起こり、インドのほか、10か国では少なくとも2,000人が増え、純増1,000以上となりました。

この増加の大きな推進力となったのはロータリーのグローバル・クエストです。このキャンペーンは、各クラブが月に少なくとも新会員1人を加え、年間最低5人増にするこ

とと、各地区に少なくとも3つの新クラブを結成するよう要請しました。

会員増強の上記10か国の内訳、および会員増強と新クラブ結成の上位5地区、上位10クラブは、R J Wのホームページをご覧ください。

<http://www.rotary.or.jp/ri.html>

をクリックして、広報からニュースバスケッ

トの7 - 17を開いてください。

会員増強の上記10か国の内訳

アメリカ 8,618; 韓国 7,398;

フィリピン 2,929; イタリア 2,495;

ブラジル 2,166; ドイツ 1,971;

ナイジェリア 1,637; バングラデシュ 1,577;

英国 1,429; トルコ 1,272

..... 文 庫 通 信 (179号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブの事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新世代の人達に聞いてほしい講話

「私の転機～ロータリーが果たした役割」 池ノ上克 他2002 25 p (D.2730地区大会シンポジウム)

「人生の選択」 大橋巨泉 2002 14 p (D.2610地区大会講演)

「人間一人では生きられない」 高橋堯昭 2002 2 p

「21世紀に向けての新世代奉仕」 重田政信 2001 9 p (D.2500地区大会講演)

「歴史の中から見たリーダーの条件」 童門冬二 2002 8 p (D.2790地区大会講演)

「自然保護大国でなければ21世紀は生き残れない - クマの棲む豊かな森を次世代へ」 森山まり子
2002 16 p (D.2680地区大会シンポジウム)

「国際宇宙ステーションの世紀 守ろう地球 めざそう宇宙」 菊山紀彦
2002 14 p (D.2680地区大会講演)

「小説家の頭」 阿刀田高・阿刀田慶子 2002 19 p (D.2720地区大会講演)

「人類への貢献」 奥貫一之 他 2002 33 p (D.2510地区大会フォーラム)

「これからの日本」 竹村健一 2002 11 p (D.2820地区大会講演)

「こどもたちは今「命を育て、心を結ぶ」」 横川遊亀 2002 17 p (D.2670地区大会講演)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「二十一世紀の教育を考える」 2002 61 p (D.2660 IM記録誌)

[申込先：大阪城北R.C. FAX(06)6352-6207]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL.(03)3433-6456 FAX.(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

第2840地区 2002年7月出席報告

クラブ数	会員数				
	7月初	7月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
46	2,339	2,369	33	58	87.58

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数			
			月初	月末	増減	女性
第1分区分						
前橋	4	94.88	97	99	2	0
前橋西	4	99.63	67	68	1	0
前橋東	4	90.31	72	72	0	0
前橋北	5	89.67	63	63	0	2
前橋南	5	90.77	40	40	0	0
前橋中央	5	85.26	43	43	0	5
合計(6クラブ)		91.75	382	385	3	7
第2分区分						
桐生	5	85.09	71	71	0	0
伊勢崎	5	87.70	70	74	4	0
桐生南	5	81.17	50	53	3	2
群馬境	4	92.80	50	51	1	3
桐生西	4	91.58	68	68	0	0
伊勢崎中央	4	89.30	61	61	0	0
伊勢崎南	5	81.03	42	42	0	1
桐生中央	4	86.80	40	41	1	5
伊勢崎東	5	84.49	38	39	1	1
桐生赤城	5	91.19	44	43	-1	2
合計(10クラブ)		87.12	534	543	9	14
第3分区分						
高崎	5	92.17	71	76	5	0
高崎南	5	94.44	73	74	1	3
富岡	5	97.73	56	57	1	3
藤岡	4	88.14	59	59	0	2
安中	5	74.99	36	36	0	0
高崎北	5	86.54	64	64	0	0
藤岡北	5	74.37	20	20	0	1

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数			
			月初	月末	増減	女性
第3分区分						
高崎東	4	96.37	61	63	2	0
富岡中央	4	88.78	50	50	0	0
高崎ソフオー	4	88.78	52	52	0	3
碓氷安中	4	64.17	30	30	0	3
高崎セントラル	5	82.56	42	43	1	0
藤岡南	4	77.38	42	39	-3	9
合計(13クラブ)		85.11	658	663	7	24
第4分区分						
太田	4	90.36	99	98	-1	0
館林	4	87.28	57	60	3	0
大泉	5	89.67	52	53	1	2
太田西	4	86.63	41	41	0	1
太田南	4	82.00	56	56	0	0
館林西	4	86.90	23	23	0	0
新田	4	90.84	36	37	1	0
館林東	5	84.00	32	32	0	1
太田中央	4	84.02	36	36	0	3
館林レニアム	4	92.63	31	31	0	0
合計(10クラブ)		87.43	463	467	4	7
第5分区分						
渋川	4	97.23	73	73	0	2
沼田	5	89.66	55	60	5	0
草津	4	91.03	26	26	0	1
水上	5	81.40	9	9	0	0
中之条	5	84.88	30	30	0	1
沼田中央	4	96.00	63	66	3	0
渋川みどり	5	86.22	45	47	2	2
合計(7クラブ)		89.49	302	311	10	6

公式訪問・行事予定

9月の公式訪問予定

- 9月3日 藤岡北
- 9月4日 前橋南
- 9月5日 前橋東
- 9月10日 安中
- 9月12日 藤岡
- 9月17日 中之条
- 9月18日 富岡
- 9月19日 富岡中央
- 9月25日 大泉
- 9月26日 碓氷安中
- 9月27日 館林

9月の行事予定

- 9月1日 第1分区分IM
- 9月5日 米山奨学委員会
- 9月8日 第2分区分IM
- 9月14日 第4分区分IM
- 9月15日 第5分区分IM
- 9月21日 第3分区分IM
- 9月22日 第1回GETS(予定)
- 9月30日 米山第1回理事評議会

**9月のロータリー・レートは
1ドル 120円です**